

資料3 脱炭素社会に向けた若者の意見

令和4年5月に実施した、「2050年の「ゼロカーボン おおさか」の実現に向けて ～若者世代との意見交換会～」における、学生からの意見を大学別で掲載しています。

(1) 大阪大学の学生からの意見

質問1：「大阪市は、2050年の脱炭素社会「ゼロカーボンおおさか」の実現をめざしています。「ゼロカーボンおおさか」が実現した社会、どんな暮らしになっている又はしたいと思いませんか？」

意識せずに脱炭素を行える社会 自分の生きたいように生きることのできる社会



- 日常で使っているものが地域で循環している
- 地域住民との交流・つながり
- 仕事、暮らしの選択の自由



2

意識せずに脱炭素を行える社会 自分の生きたいように生きることのできる社会

学生



授業→オン・オフ併用
教育格差是正も

社会人



ワークライフバランス
子育て、職業選択の自由
通勤時間の減少

高齢者



趣味・仕事を楽しむ
健康寿命が延びる

地域イベントを楽しむ：ex)BBQ



相互扶助・地域循環

- ・地域住民との交流、助け合い
- ・生産者との交流、伝統文化の継承
- ・地産地消、カーボンニュートラル

2

質問2：「誰でも参加できる地球温暖化対策、
どんなプログラムであれば参加したいと思いますか」

すでに興味のあるところから環境意識向上へ

プログラム1

エンターテイメント×脱ペットボトル



遊園地

ライブ

商業施設

廃棄物部門ゼロカーボンへ

プログラム2

自然観察ゲーム in 植物園, 水族館



水族館

植物園

生物多様性保全も

2

質問3：「2050年の「ゼロカーボンおおさか」の実現を託す大人たちや
大阪市（行政）に対してご意見やご要望をお願いします。」

要望1 気候変動対策を重点に据えた社会に移行してほしい

現状

- ・ 経済成長の陰で、自然は劣化させられ続けてきた
- ・ 気候変動の甚大化（2018年台風21号）
- ・ 今すぐ脱炭素化の取り組みが必要



経済成長と環境破壊 台風21号発生時、関西国際空港
連絡橋に衝突したタンカー

理想

- ・ 市民に対して、気候変動対策・脱炭素の重要性を発信し続ける
- ・ 自然・気候を包括する富の指標を導入する

脱炭素！



*令和元年版防災白書「特集第1章第1節1-3平成30年台風第21号による災害」防災情報のページ - 内閣府
https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h31/honbun/0b_1e_01_03.html

質問3：「2050年の「ゼロカーボンおおさか」の実現を託す大人たちや大阪市（行政）に対してご意見やご要望をお願いします。」

要望2 今まで取り残されてきた声を市政に反映してほしい

現状

- SDGs未来都市認定・2025年大阪関西万博
- 女性の就業率・障がい者の雇用・相対貧困率などの課題
- あらゆる場面で気候不正義が存在



**1)万博の大阪決定を喜ぶ関係者たち

理想

- 大阪関西万博に、より多くのステークホルダーを含める
- 気候市民会議を開催する



SDGsの基本理念
誰一人取り残さない

**2)大阪万博の開催決定、2025年に「未来社会の実験場」をコンセプトに、半年で来場者2800万人見込み！トクベロイヌ（観光産業ニュース）
<https://www.travelvoice.jp/20181124-121815>

(2) 大阪公立大学の学生からの意見

今後の大阪市の地球温暖化対策に関する意見交換

質問1

大阪市は、2050年の脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」の実現をめざしています。「ゼロカーボン おおさか」が実現した社会、どんな暮らしになっている又はしたいと思いますか？

※「ゼロカーボン おおさか」は、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

回答1（大阪公立大学）

- 町のいたるところにみどりがあることで、どこにいても自然が感じられ、都心でも空気がきれいになっている
(→自然が都市や暮らしを彩る社会)
- 都心構造の多い大阪においても緑地公園が多数存在している
- 大阪の食料生産の一部を都市部の植物工場が担っている
- 動植物や、それらと共存する暮らしについて、より多くの人が親しみを持っている
- 二酸化炭素を出さざるを得ないもの（昔の車やたき火など）が悪として扱われないような社会にしたい
- 脱炭素への取り組みをみんなが評価できる社会
- 行政が率先して脱炭素に向けた行動をする社会

今後の大阪市の地球温暖化対策に関する意見交換

質問2

誰でも参加できる地球温暖化対策、どんなプログラムであれば参加したいと思いますか？

回答2（大阪公立大学）

- 地球温暖化対策の貢献度を数値化し、それに応じた特典の提供
- バザーやお祭りのような、みんなが楽しく得できるもの
- 木工教室など、体験型の催し
- 友だちなどと一緒に参加してみたいくなるようなプログラム
- いろいろな人と交流できるようなプログラム
- 「ゼロカーボン おおさか」に向けた政策に関する公開シンポジウム
- ドイツやスウェーデンなどの環境先進国で、環境に配慮した政策について学べ、体験できる短期留学

今後の大阪市の地球温暖化対策に関する意見交換

質問3

2050年の「ゼロカーボン おおさか」の実現を託す大人たちや大阪市（行政）に対してご意見やご要望をお願いします。

回答3（大阪公立大学）

- 地球温暖化対策を意識せずともあたりまえにできるような社会の実現。そのための制度実施など、積極的な行動を起こしてほしい
- 二酸化炭素だけでなく、他の温室効果ガスに焦点を当ててほしい
- 2050年になったら、結果をちゃんと教えてほしい
- 取り組みにより期待される効果を数値で示してほしい
- 商品などの製造過程のエネルギー源が何なのか分かるようにしてほしい（電気自動車を石油を使って製造してもあまり意味がない）
- 若者が新たな創造や活動を意欲的にできるような支援
- 時代に応じた柔軟な普及活動（現代ではSNSなど）

資料4 施策による削減可能量の算定

国が実施する施策による削減量の算定や電力排出係数（0.25kg-CO₂/kWh）の設定については、国の「2030年度におけるエネルギー需給見通し（関連資料）」（2021年10月）を参考としています。

大阪市では、この見通しの内容に加えて、市の施策とあわせて取組みを進めた場合の大阪府域における2019年度以降の削減量を現状趨勢ケース（2030年度の排出量推計値）から算定しています。

（1）産業部門

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
高効率機器の導入、徹底的なエネルギー管理の実施、(府)中小事業者の取り組みの支援	—
(府)気候変動対策の推進に関する条例に基づく取組の促進	25.8
電力の排出係数の改善	40.4
(大阪府が実施する施策)	
中小規模事業者への省エネ促進に向けた取組 (市内の中小規模事業者が毎年1%(2023年以降は1.5%)の省エネを実施するよう誘導)	42.1
エコアクション21などのEMSの認証取得拡大に向けた普及啓発	—
合計	108.4

（2）業務部門

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
新築建築物の省エネ基準適合推進	21.0
建築物の省エネ化(改修)	7.5
高効率機器の導入(給湯)	2.9
高効率機器の導入(照明)	9.8
トップランナー制度等による機器の効率改善	17.1
エネルギー管理の実施	12.4
照明の効率的な利用、クールビズ等の推進	0.1
電力の排出係数の改善	90.4
(大阪府が実施する施策)	
中小規模事業者への省エネ促進に向けた啓発	48.0
大阪府の率先的取組の推進(事務事業からの温室効果ガス排出量削減)	10.2
エコアクション21などのEMSの認証取得拡大に向けた普及啓発	—
合計	219.4

(3) 家庭部門

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
新築建築物の省エネ基準適合推進	10.1
既築住宅の断熱改修の推進	3.6
高効率機器(ヒートポンプ給湯機、燃料電池)の導入	22.6
高効率照明の導入	7.3
トップランナー制度等による機器の性能向上	6.5
家庭における省エネ行動の推進	0.7
エネルギーの「見える化」の普及加速によるエネルギー管理の推進	7.2
節電所の設置(ネガワット取引)	—
電力の排出係数の改善	70.4
(大阪市が実施する施策)	
脱炭素先行地域の創出に向けた基盤づくり	3.2
家庭への省エネ促進に向けた啓発	34.0
合計	165.4

(4) 運輸部門

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
次世代自動車の普及、その他運輸部門施策	—
大阪都市再生環状道路の整備推進(大和川線)	—
交通流対策の推進などの運輸部門対策	27.2
電力の排出係数の改善	10.8
(大阪市が実施する施策)	
大阪都市再生環状道路の整備推進(淀川左岸線2期事業)	3.4
次世代自動車の普及(乗用車)	8.1
次世代自動車の普及(その他)	15.3
万博を契機とするバス事業者の脱炭素化の促進(EVバス・FCバスの導入促進)	1.0
大阪”みなと”カーボンニュートラルポート形成の推進	—
合計	65.8

(5) 廃棄物部門

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
2R(リデュース・リユース)取組推進、循環型社会の形成	—
(大阪市が実施する施策)	
ごみ減量の取組	4.1
プラスチックごみ焼却量の削減	6.0
合計	10.1

(6) - 1 再生可能エネルギーの導入促進（分野横断）

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
再生可能エネルギーの最大限の導入促進	—
(大阪府が実施する施策)	
太陽光発電の導入促進	1.8
廃棄物発電の推進	—
下水処理場における消化ガス発電	—
下水汚泥の固形燃料化	—
地中熱の導入促進	—
合計	1.8

(6) - 2 地域環境の整備及び改善（分野横断）

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
(府)都市インフラの充実強化、エネルギーの面的利用の拡大	—
(大阪府が実施する施策)	
エネルギー面的利用の促進	—
「大阪府みどりのまちづくり条例」に基づく緑化の義務付け	—
緑化の推進	—
合計	—

(7) その他の施策

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(大阪府が実施する施策)	
二国間クレジット制度(JCM)等を活用したアジア諸都市等での温室効果ガス削減 (域外貢献)	—
地中熱の導入促進(再掲)	—
エネルギー面的利用の促進(再掲)	—
「大阪府みどりのまちづくり条例」に基づく緑化の義務付け(再掲)	—
木材利用の促進	—
合計	—

(8) その他温室効果ガス

施策	2030年度削減量 (万トン-CO ₂)
(国等が実施する施策)	
フロン対策の推進(HFCs等4種類のガスの総合的排出抑制対策)	68.1
(大阪府が実施する施策)	
ごみ減量の取組(CH ₄ ・N ₂ O)	0.2
フロン排出抑制法に基づく適正な機器の管理	—
自動車リサイクル法に基づく適正なフロン類の回収指導	—
合計	68.3

合計	639.2
----	-------